

還る処

夕べみた

ことが

明日の天にたたずむ

月だとは

だれもしらない

庭で丸まる

ねこが

とおくの山で死んだ

おおかみの骨だとは

だれもきづかない

丘をこえる

風が

谷にうもれ咲く

百合だとは

だれも語っていない

湖に映る

ざわめく碧い森が

さざ波にはこぼれた

孤島の砂だとは

だれもたしかめない

歴史を刻んだ

英雄が

ひそやかにかがやく

レグルスだとは

だれも だれも

なにもかもが

白に還れる処がある